

本年度に重点的に取り組む事業

○学力の向上と安心して通える魅力ある学校づくりの推進

- ・基礎学力の充実と主体的・対話的で深い学びを追求する教育を推進し、思考力、判断力、表現力を育て、確かな学力の向上を図る。
- ・大野市学力調査や福井県学力調査、全国学力学習状況調査の結果を分析し、指導方法を改善するとともに、教員一人一人の指導力の向上を図る。
- 意識調査を活用しながら、すべての子ども達に自尊感情を育む安心して通える学校づくりを推進する。
- ・「魅力ある学校づくり調査研究事業」において、中学校区研究会が中心となって、すべての子ども達に自尊感情を育む学校づくりを推進する。
- ・スクールソーシャルワーカーによる児童生徒をとりまく環境改善、臨床心理士による教育相談、24時間対応のメール相談の実施及びいじめの定義をもとにした幅広いいじめの認知により、いじめ・不登校の未然防止と早期発見・事案対処に努める取り組む。
- ・関係機関との連携を強化し、児童虐待の未然防止や早期発見等、学校における適切な対応を図る。
- ・結の故郷教育支援員や教育相談員、非常勤講師を配置し、児童生徒へのきめ細やかな支援や指導の充実を図る。
- ・関係機関との連携を深め、幼児期から小学校への発達と学びをつなぐスタートカリキュラムの充実を図る。
- ・就学前教育から高等学校教育までのそれぞれの接続が円滑に行われるよう、子どもの交流や教職員の交流等を推進する。
- ・大野市図書館の「新こねずみ文庫」の貸出活動や、ブックトーク、おはなし会、読み聞かせボランティアの派遣を実施し県の「選定図書学校巡回事業」等を活用して、本に親しむ子どもを育てる。

○ふるさとを知り、ふるさとを創る学習教育の充実

- ・大野の人・歴史・文化・伝統・自然・産業等を学ぶ教育を積極的に進めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育てる。
- ・小学校4、5、6年生で、「大野の宝先人に学ぶ」や「わたしたちの結の故郷」を活用し、結の心を育てる。
- 中学校1、3年生を中心に「結の故郷中学生みこしダンスパフォーマンス」を開催し、ふるさとへの誇りと愛着を育てる。

○国際化・情報化社会に対応できる人づくり

- ・小学校にALTを3名配置し、チームティーチングによる授業づくりを進め、先行実施している言語活動を中心とした外国語教育の充実を図る。
- ・小中学校で電子黒板やタブレット端末の活用を推進し、児童生徒の学力を高め、主体的・対話的に学習できる授業づくりに努める。

○特別支援教育→幼小接続の推進

- 一人一人の教育的ニーズに応えるため、個別の支援・指導計画をもとにした特別支援教育を推進する。
- ・特別な配慮を必要とする児童生徒の個別の支援・指導計画の作成や活用を進め、一人一人のニーズに応じた途切れない支援を行う。
- ・障害のある児童生徒に対して、学びやすく、生活しやすくなるために必要な合理的配慮を行い、学習活動の充実を図る。

○健やかな体の育成

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等の調査を活用し、体育授業やアクティブワン活動等を通して、児童生徒の体力の向上を図る。（短距離走やボール投げを重点種目とする。）
- ・農業体験や味覚と食の楽しさを学ぶ授業、地場産学校給食等を通して、食育を推進する。

○キャリア教育の推進

- ・小学校6年生で一日保育体験を実施し、働くことの意義と喜びを体感させるとともに、命を大切にすることや自分の成長を支えてくれた人への感謝の気持ちを育てる。
- ・小学校において、体験的な活動を通して地域の人たちと触れ合う中で、働くことの意義の理解や社会参画意識の醸成を図る。
- ・中学校において、職場体験学習やさまざまな職業の人たちの体験談を聞くことを通して、働くことの意義や大切さの理解を深め、望ましい職業観を育てる。

○学校教育環境の整備

- ・「学校業務改善方針」及び「部活動の在り方に関する方針」に基づき、教職員の働き方改革を推進する。
- 教職員の学校業務改善を図り、働き方改革を推進する。
- ・児童生徒が安全で安心して学校生活を送れるよう、校舎等の修繕や管理備品等の整備を効率的及び計画的に進め、教育環境の充実を図る。
- ・全ての子どもが、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるよう、経済的に就学困難な児童生徒の保護者に就学援助費を支給する。
- ・安心して子どもを生み育てられる環境を整え、子育て世代を支援するため、第3子以降の児童生徒の学校給食費を無償化する。
- 結の故郷奨学金制度により、保護者の経済的負担を軽減するとともに、若者のふるさと大野への帰郷を促進する。
- ・より良い教育環境の整備に向けて、保護者や地域住民等の意見を参考にしながら、小中学校の再編計画を見直した再編計画（案）を作成する。

○文化会館の整備

- ・文化会館整備基本計画を基に基本設計を実施し、文化芸術振興の拠点施設の整備に取り組む。併せて、新文化会館の運営について委員会を設置し検討を行う。

成果指標等

(●は第五次総合計画成果指標)

●「将来の夢や目標を持っている」小学校6年生、中学校3年生の割合

小学校	[R1実績: %]	[R2目標: 100%]
中学校	[R1実績: %]	[R2目標: 100%]

○全国学力・学習状況調査の市平均値と県平均値の比較

小学校	[R1実績: 同等]	[R2目標: 上回る]
中学校	[R1実績: 下回った]	[R2目標: 上回る]

○全国体力・運動能力運動習慣等調査の体力合計点

(市平均値と全国平均値の比較)		
小学校	[R1実績: 上回った]	[R2目標: 上回る]
中学校	[R1実績: 上回った]	[R2目標: 上回る]

○「学校が楽しい」と答えている小学生、中学生の割合

小学校	[R1実績: %]	[R2目標: 100%]
中学校	[R1実績: %]	[R2目標: 100%]

○不登校児童生徒数および1,000人あたりの不登校児童生徒数

小学校	[R1実績: 人, 1000人あたり]	[R2目標: 下回る]
中学校	[R1実績: 人, 1000人あたり]	[R2目標: 下回る]

○いじめの認知件数と解消率

認知件数	小学校 [R1実績: 件]	[R2目標: 上回る]
	中学校 [R1実績: 件]	[R2目標: 上回る]
解消率	小学校 [R1実績: %]	[R2目標: 100%]
	中学校 [R1実績: %]	[R2目標: 100%]

○地域行事への参加率

小学校	[R1実績: 86%]	[R2目標: 90%]
中学校	[R1実績: 67%]	[R2目標: 70%]

●ICT機器の活用率

小学校5・6年	[R1実績: %]	[R2目標: 100%]
中学校5教科	[R1実績: %]	[R2目標: 100%]

○奨学金の利用者で当該年度に卒業したもののうち帰郷した割合

[30実績: 79%]	[31目標: 50%]
-------------	-------------

